

なり、総隊長として資金や物資の調達という後方支援のつもりでしたが、登山隊を再編成し21年ぶりに隊長として準備活動に専念せざるを得なくなりました。参加する隊員には登山教室、4000山グランプリで登山を始めた人や、はじめてのヒマラヤ登山という人がほとんどなので、準備作業と並行して積雪期の穂高岳や岩場でのトレーニングなど、ヒマラヤ登山に必要な登攀技術の習熟や隊員間のコミュニケーション強化にも努め、富士山での高所トレーニングもおこなってきました。

ネパールヒマラヤの東北隅にあるチベット国境の山々は、1848年のJ.D.フーカーが踏査したヒマラヤ探検時代から比べ、地球温暖化による氷河の衰退などで山容は大きく変化しています。我々の向かうナンガマリも大きな湖が行く手を阻み、氷河はズタズタに寸断されている様子をグーグルアースで見ることができます。

壮行会の最後に大きな花束をいただきました。ずっしりとした花の重さに、多くの方々の支援と声援を背に、頂上に立ちたいという隊員を安全に頂上に到達させ、元

気な姿をベースキャンプで迎える責任の重さを再認識しました。

登山隊：

隊長 重廣恒夫(68歳)・登攀リーダー 岩井賢助(26歳)・食料 加藤芳樹(49歳)・装備 黒田記代(63歳)・輸送 竹中雅幸(26歳)・医療 立野里織(39歳)・会計 長瀬美代子(38歳)・食料 松仲史朗(63歳)・記録 茂木完治(68歳)・通信 森本悠介(26歳)

日程：

9/9 関空～カトマンズ
 9/13-9/15 カトマンズ～タプレジュン
 9/16-9/21 タプレジュン～ゲンサ
 9/23-9/28 ゲンサ～BC
 9/30-10/19 登山活動
 10/21-11/4 BC～カトマンズ
 11/8 カトマンズ～関空

隊員メッセージ

岩井賢助

いよいよ出発を迎えます。3年程前から遠征の話聞き、その頃から決心していましたが、本当に自分がこの舞台に立つのは半信半疑でした。思えばこの3年間色んな事がありました。ここまでの道のりがとても長く感じられますが、それも全て運命だと感じます。こうして出発できることに、皆様に感謝致します。最後は気持ちが大事、何がなんでも登る！その気持ちを切らさずに遠征を成功させて戻ってきます。

加藤芳樹

カンチェンジュンガの北西に6000m峰ながら三角錐の秀麗な山容をとがらせるナンガマリ。ネパールに旅立つ直前の今は、期待と不安が入り混じった心境です。関西支部の80周年の節目の登山です。重廣隊長のもと、いいご報告ができますように行ってまいります。

黒田記代

今年2月に定年退職しました。これまでは長期休暇取得は無理でしたが、時間的に自由な身になり今回の海外

登山に参加することが出来ました。このチャンスを生かし、今までステップアップして学んできた知識・技術すべてを総動員し、初めての海外登山にチャレンジします。自分の登山の総仕上げの山行になるような登山をしてきたいと思います。ご支援頂きました多くの皆様に良い報告が出来るよう頑張ってきます。

竹中雅幸

高所登山は7年ぶりです。学生時代の2009年、第3回日中韓三国学生交流登山で中国青海省の玉珠峰6178mに



トレーニングを終えて 撮影：長瀬美代子

登りました。しかし、従っていただけだったあのときは違い、今回は自分たちでルートを切り拓いていかなければなりません。きっと想像もしなかったことが沢山起こるだろうと、今は期待と少しの不安でいっぱいです。送り出してくださった皆さまに感謝しながら、2か月間を全力で過ごしたいと思います。

立野里織

2014年のインドネシア・リンジャニ山ツアーに参加したことがきっかけで日本山岳会関西支部の方々と出会いました。以降、数多くの貴重な経験をさせていただき、私の世界は劇的に広がりました。今回このような機会を与えてくださった皆様、そして人の縁にも恵まれ、本当に感謝しております。皆様の思いとともに、頂上に立つという信念を貫き通し、笑顔で帰ってきます。

長瀬美代子

9年前のカラパタールトレッキング以来、私もいつかは高所登山を…！という夢を抱くようになり、今回のナンガマリ遠征で初めて6000m超に挑戦する機会をいただきました。支援してくださる皆さまに心より感謝致しますとともに、遠征隊メンバー一致団結して、ナンガマリⅡ峰登頂とⅡ～Ⅰ峰縦走を成功させて、全員笑顔で帰還したいと思います。

松仲史朗

海外登山への憧れを持ち続けてきました。登山活動の集大成にふさわしい記念事業の遠征に参加を決意しました。不安や恐怖はありますが、国内の訓練を経て、遠征に挑戦します。ナンガマリⅡ峰の初登頂とⅠ峰への縦走を踏破し、重廣前支部長と隊員の皆さんと一緒に笑顔で

無事に日本へ帰ります。おかげさまで、多くの皆様に温かいご支援をいただき出発することができました。ありがとうございました。行ってきます。

茂木完治

十代の時、ヒマラヤにあこがれて高校山岳部に入りましたが体調を崩したこともあって挫折。あれから50年、よもやヒマラヤに登るチャンスが巡ってくるとは思いませんでした。どこまでできるかわかりませんが、できるかぎりのことをやりたい。多くの山仲間の支援と声援を受けました。今までにない重たい体験で、驚いています。これもしっかりと受け止めてヒマラヤへ行ってきます。計画半ばで病に倒れた故大西保氏の思いも胸にして。

森本悠介

大学の山岳部を出て細々と山登りを続ける中で、関西支部の方にお誘いいただき遠征に参加させて頂きました。遠征の準備を進めて行く中で、周りの友人から初めてお会いした方々まで多くのご支援を受け、皆様の想いが詰まった遠征隊であると強く感じております。一から始まった遠征隊ですが、成功させたいという想いは皆一緒です。精一杯頑張っていきたいと思います。

**東ネパール登山隊 2016
行動報告 ホームページで配信中**

アシックスジャパン(株)の協賛により登山活動をインターネットで観ることが可能です。下記のサイトからご覧ください。

<http://haglofs.jp/news/>

東ネパール登山隊壮行会報告

日時：平成28年8月3日(水) 18:30～20:30
会場：梅田・大東洋

野村珠生

日本山岳会関西支部80周年記念事業のプロジェクトの一環として2013年6月から準備を進めてきた「東ネパール登山隊2016」は9月9日ナンガマリⅠ峰、Ⅱ峰縦走をめざし日本を出発する事となり、大阪梅田「大東洋」にて壮行会が開催されました。

18時30分に新本政子さんの司会で始まり、まず初めに金井良碩支部長の挨拶がありました。金井支部長は、80周年事業の最後の総仕上げとして実施される海外登山に対し会員のみなならず多数の方々からご支援をいただいたことに対し御礼の言葉がありました。

つづいて登山隊長、重廣恒夫氏から登山計画の説明があり、プロジェクターを使ってナンガマリⅠ、Ⅱ峰のあるチベットとの国境に近いカンチェンジュンガ山域の概要や、登行ルートの説明、更に今回の山行はこれまで日本山岳会が行ってきた高峰登山の伝承を目的としているとの話がありました。9月9日(金)9時30分関西国際

か。私は暗に「君たちでは無理だ」と言われているようにも思った。苦勞の末ではあったが天候にも恵まれ、登頂に成功した。そしてBCで最初に受け取った手紙がなんと今西壽雄さんからの祝福の手紙だった。「すごいことをやったなあ。正直成功するとは思っていなかった。本当によくがんばった。おめでとう。」支部長さんの正直な気持ちと喜びが本当にうれしかった。

帰国後、私は関西支部で委員の一人として、お手伝いをする事になり、支部報の編集を担当した。慣れない仕事に多くの人の手助けを受けながら何とかこなしていた。

実は支部長のお嬢さん2人は、私が勤めていた学院の生徒であり、次女の恵子さんとは特に親しくさせていた

だいた。そんなこともあり、支部長はいつも私のことを気にかけてくださったことが忘れられない。

支部の仕事で一番印象に残っていることは、何かの記念行事の一つで、「今西錦司さんを囲んで」という座談会に、支部の担当者として参加したことがあった。この時の錦司さんの話が、奇想天外というか、私には思いもつかない話が次から次に飛び出してきて、本当にすごい人だと感心したことがあった。

その後、ほんの数年しか関西支部のお手伝いはできなかったが、今ではうろ覚えではあるが、阿部さん、宗實さん、桑田さん、金井さん、村井さんらの名前を思い出す。
(会員番号6798 2016/6/19)

支部山行報告

支部山行15-35 地図を見ながらしっかり歩こう
五月山～天上ヶ岳～明ヶ田尾山～北摂霊園～箕面

山内幸子

1月16日(土)晴

地図を見ながら長時間約20キロ程度歩く山行を「しっかり歩こう」と銘打って計画した。

五月山杉ヶ谷コースから取り付き「ふれあいの道」に出て日の丸展望台の下で千代山の三等△を踏むと自動車道歩きが続くのでゴルフ場の横の山道を通り箕面ゴルフクラブ前が出る。途中ヒマラヤシーダーの実を拾い、時々若林さんに地図を確認してもらいながら歩く。

ようやく台を越え止々呂美分岐の先の箕面自然研究路2の入口から役行者終焉の地天上ヶ岳に行き、役行者像を見て堂屋敷への道に戻る。三等△堂屋敷で魚津さんと合流。みのおの森公園の広場で昼食を取る。

昼食後、鉢伏山に向う。若林さんが地図を見ながら先頭を進む。今までこのコースで人に会ったことはないが今日は土曜日なので何人かと会う。三等△明ヶ田尾山頂上で記念撮影後、高山へ下る。公民館の前から北摂霊園に向かい東海自然歩道に入り順調に進む。東海自然歩道西の起点政の茶屋に出て自動車道を歩き大滝に出て、そのまま滝道を歩いて箕面駅に出る。

約24キロの長丁場を約9時間歩き、充実感に満たされた1日だったようだ。ご苦勞様でした。



明ヶ田尾山にて 写真提供：魚津清和

【コースタイム】

池田駅08:30—09:37日の丸展望台—11:05自然研究路入口—11:30天上ヶ岳—11:45堂屋敷—12:25みのおの森公園—12:45—13:12鉢伏山—14:02明ヶ田尾山—15:30北摂霊園—16:00開成王子の墓—16:43東海自然歩道入口—17:35箕面駅

【参加者】

山内幸子 久保和恵 黒岩敦子 若林朋世 (途中合流)
魚津清和 計5名

支部山行15-41 4000山G
奥美濃 芦倉山～丸山～初河山

山内幸子

3月12日(土)晴

美濃太田駅前のビジネスホテルで前泊し、美濃白鳥駅

から予約してあったタクシーで石徹白の中居神社まで行く。保川林道を歩いて雪崩の心配があるため芦倉山から西南に延びる緩い尾根に取付き高度を上げる。背後の野伏・薙刀から願教寺山に連なる山々も雪が少なく黒いところが多い。P1221を越えて雪の上を快適に歩くが所々藪が出てくる。ブナ林では熊棚や幹に鋭い爪痕を見る。今日は快晴で展望は抜群であるが、どの山もこの時期にしては黒々している。稜線が東に方向を変えると芦倉山は近くに見えるが、1時間ばかりで御嶽山が真正面に見える広いピークに立つ。丁度西から雲が出てきて白山の姿を隠されてしまった。頂上から真西に下り、浅いルンゼを横断した平らな雪の上にテントを張る。

3月13日(日)晴



芦倉山を背に丸山から初河山に向う 写真提供：重廣恒夫

3時起きで5時にアイゼン、ハーネスを着けヘッドランプを点けて歩き出す。芦倉山を背に小さなこぶを登ったり下ったりしながら、東側に雪庇がある細い尾根はロープを結んで進む。今日も御嶽、乗鞍、穂高から槍と続く尾根を見ながらの縦走である。丸山まで時間がかかり気も抜けない。丸山から初河山まではアップダウンを繰り返しながら細い尾根を慎重に下っていく。初河山の三角点(△初子)は雪の中だった。尾根が広がってくると同時に藪も顔を出してくる。下るにしたがって丸山・初河山がだんだん遠くなり、左手に見えていた芦倉山も遠ざかっていくにつれ雪が柔らかくなりズボズボと落ち込むことが多くなる。ロープに引っ張られたり、引っ張ったりしながら石徹白川沿いの道に下りてホッとすが、中居神社まではまだまだ遠い。林道歩き1時間半でタクシーの待つ中居神社に着いた。早々に乗り込み北濃駅まで急いでもらい何とか電車に乗れた。お陰様で名古屋経由で、日付の変わるまでに家にたどり着くことができた。

【コースタイム】

3月12日 白山中居神社09:06—11:09芦倉山取付—11:40林道合流—12:48 P1221—14:48 P1464—16:45芦倉山—17:37テントサイト

3月13日 テントサイト05:01—08:56丸山—11:35初河山—13:55 P1148 —15:42道路合流—17:30白山中居神社

【参加者】

重廣恒夫 黒田記代 立野里織 野村珠生 松仲史朗
山内幸子 計6名

支部山行16-02 ゆるやか山行「里山探訪」

歴史と文化を訪ねる32

4月28日(木)実施予定の「南山城・鷲峰山」は、雨天により中止

支部山行16-03 関西支部県境縦走40

天狗木峠～陣ヶ峰～水ヶ峰～白口峰～山の家しみず

山内幸子

4月29日(金)晴

今月からテント泊になり参加者が4人になったのでタクシー1台で高野山駅から天狗木峠へ行く。4月末なのに寒い朝である。天狗木峠から一部舗装された急な道を上り、金毘羅宮の朽ち始めた祠のある一等△陣ヶ峰を踏むと道路と平行して県境を南に進む。道路を横切る手前から祠が多く建ち並んでいる中を抜けP1056で昼食タイム。新緑が美しいが今日は風が強く木枯らしが舞う冬に逆戻りしたかのようで寒い寒いと言いながら歩を進める。道路から離れ三等△五条畝を踏み高野龍神スカイラインへ下り立つ。スカイラインと平行する道に世界遺産となった熊野古道小辺路水ヶ峯入口の看板がある。よく整備された道でウン十年前に通った時と比べ様変わりしている。三等△水ヶ峯と西ヶ峰を踏む頃は寒さが一段と堪えてきた。

観光案内所で水を確保できるかと思ったが閉鎖されていたので重廣氏と若林さんが水の調達に行ってくれたので建物の裏でテントを張り夕食後、早々に休む。星が綺麗な夜であった。

4月30日(土)晴

3時起床、4時半から歩き出す。朝焼けの中、風車を見ながら遊歩道を上り、つる姫の墓のある二等△檜股を踏みスカイラインを下に見ながら棒峠(法峠)を越しアジサイ園に下りる。売店や和歌山県の夕日百選碑のある展

望台もある広いところだが朝早いので誰もいない。目の前に金属標の四等△吉井がある。

再び県境稜線に戻りスカイラインと平行して南下する。四等△谷ノ瀬は探すが見つからず。この頃から暖かくなり登りにかかったので暑くなってくる。ゆっくり登り三等△高尾瀬を踏み藁峠に下り大休止。ここからは疲れてきて亀さんの歩みになり四等△東谷を越しP1066を越す。コシアブラの木が切り倒されているのが目につく。コシアブラは上の方に葉をつけるので切り倒して葉を摘んでいるのだ。人間の身勝手さに腹を立てながら歩き今回の最後のピーク三等△白口峰によくたどり着く。さらに約1時間歩き山の家しみずに到着して今日の行程を終え、タクシーで高野山駅まで出て帰阪する。

約11時間半の歩行時間であった。お疲れ様。



車道に平行して歩く 写真提供：重廣恒夫

【コースタイム】

29日 天狗木峠10:00—10:12陣ヶ峰—11:16P 1046—12:06 P 1056—14:00五条畝—17:00水ヶ峰—17:10西ヶ峰—18:09 観光案内所(テント泊)

30日 テント場04:30—05:06檜股—05:44棒峠—06:55吉井—08:50谷ノ瀬—11:02高尾瀬—11:44箕峠—12:28東谷—14:39白口峰—15:56山の家しみず

【参加者】

重廣恒夫 黒田記代 山内幸子 (会友)若林朋世

計4名

支部山行16-5 京都府最高峰 皆子山(971.5m)

前田正彰

5月14日(土) 晴

江若バス「平(だいら)」停留所に参加者全員が集合した。リーダーの久保さんから“谷筋からの登山道が崩壊して通行止めで、今回は尾根筋のピストンコースとする”旨の説明があった。登山口に於けるお寺の境内で柔軟体操をして出発。

いきなりの急登だ。それでもリーダーがうまく小休憩をはさんでくれたお蔭で苦しさは感じることなくついで行けた。中腹までは杉の植林地帯。1本1本に紫や白のテープが巻きつけられている。鹿対策なのだそう。それにしてもおびただしい数の全てにそれが施されているのだから、その労力たるや大変な仕事だっただろうと感心させられた。そういえば杉以外に生えている植物はコケ類を除くとアセビしかないという感じだった。それだけ鹿が多いという証なのだろう。植林地を抜けるとブナの林だった。

コースは殆どが尾根筋でもあり、吹く風が爽やかで心地よかった。気温も体感20℃前後か、傾斜の割には汗もそれ程かかずにすんだ。途中、展望のきくところからは蓬莱山や琵琶湖がよく見えた。ただ黄砂等の関係か、もやがかかった状態でシャープさに欠けていたのが残念だった。山頂で京都支部の内田さんご夫妻が合流した。そこで昼食を兼ねてゆっくりと休憩して折り返しの下山。時折植物の観察会もしながらの余裕だ。それにしても最後の下りは急でよくもこれを登ったものだと不思議にさえ思えた。

麓の茶屋「杣の道」でバスの時間待ち、左党は利き酒等を楽しんで帰路に着いた。



「この木なんの木？」植物観察をしながら 写真提供：前田正彰

みどりよし 涼風やよし 皆子山
ふもとの茶屋の 利き酒さらに

【コースタイム】

平バス停09:22—正教院09:45—11:22P 941—11:47皆子山
12:42—13:04P 941—14:15正教院—14:38平バス停

【参加者】

久保和恵 山内幸子 岩崎しのぶ 魚津清和 戸島泰三
郎 野口恒雄 廣瀬健三 松村文子 前田正彰 (会友)
岐部明弘 黒岩敦子 横山規江 蓮川博凡 計13名

支部山行16-06 ゆるやか山行「里山探訪」

歴史と文化を訪ねる33

三輪山(567m)

野口恒雄

5月19日(木)快晴

予定の時刻より早く集合できたのでJR三輪駅横で準備体操をしてから出発。大神神社にお参りし、登山口の狭井神社で登拝手続きする。三輪山は、山そのものが信仰対象であり、大神神社のご神体であるので少し勝手が違う。入山心得を聞き、鈴のついたタスキをもらって登り始める。最初の急な斜面を上ると谷沿いの平らな道になり、楽勝かと思ったが、三光の滝からの道は傾斜を増して急になる。尾根をジグザグに登って行くと、高宮神社の前に出て登りは終わった。ここで先に出発されていた金井健二さんと合流する。奥に進むと有刺鉄線で囲まれた奥津磐座があった。この磐座はご神体の核心とも言うべきもので写真撮影は禁止とされている。50年ほど前にその写真が図書に掲載されて一悶着あった時に目にしたが、その時とは少し違ったもののように感じた。三角点を確認してから狭井神社に下る。

お昼も過ぎていたが先を急いで檜原神社で昼食とな



登山口の狭井神社で 写真提供：魚津清和

る。好天は喜ばしいが、この時季ともなると暑さには参ってしまう。西方には霞んだ二上山が見える。

三輪山だけでは物足りないだろうとのリーダーの配慮で、食後は山辺の道を歩く。景行天皇陵、崇神天皇陵の周濠を辿り、ところどころに置かれていた無人販売所を冷やかしながら品定めして、歩き疲れを紛らわせる。トレイルセンターで大休止。最後に、芍薬園に寄り道し、黒塚古墳の墳丘に登ってからJR柳本駅に向かった。

要所での森沢さんによる史跡解説ありがとうございました。

【コースタイム】

JR三輪駅09:57—10:05大神神社—10:20狭井神社—10:55三光の滝—11:45三輪山(奥津磐座)—12:50狭井神社—13:35檜原神社14:25—15:48天理市トレイルセンター16:05—16:22黒塚古墳—16:33JR柳本駅

【参加者】

久保和恵 山内幸子 新井浩 新本政子 井関正裕 魚津清和 浦上芳啓 嶋岡章 助川征 戸島泰三郎 野口恒雄 橋本圭之輔 松上美代子 松波幹夫 松村文子 森沢義信 山下政一 (会友) 秋月修次 浅田博三 岐部明弘 小林三喜男 田中アキエ 中田栄 横山規江 (会員外) 新井幹子 計25名

支部山行16-07 4000山グランプリ

四国 奥工石山～白髪山・笹ヶ峰・国見山

四国支部との合同山行。工石山荘から鳥居をくぐり工石山に登って行く。岩場からの展望を楽しんでしばらく稜線を歩き一等三角点のある工石山に行き、尾野さんお勧めの工石山からの境界尾根を白髪岳まで縦走する。竜王峠から白髪岳に登り返しブナの大木を見て白髪岳の頂上に立ち三角点にタッチした後、汗見川登山口に下る。体操をしている間に先を下って車を取りに行った家段さんが戻ってきたので林道歩きをせずに工石山荘まで楽に行けた。今井さんと仲間の女性達が夕食の準備をしてくださっていたので少しの手伝いだけでご馳走が並ぶ大宴会を始めることができた。

[山内幸子]

【コースタイム】

5月21日 徳島06:50—09:55工石山荘—11:06ユルギ岩—11:13奥工石山—11:43竜王峠分岐—12:13△遠見—12:49竜王峠—13:37白髪岳登山口—16:13白髪山—16:24△白髪山—17:38汗見川登山口—18:29工石山荘

5月22日 工石山荘05:00—07:06笹ヶ峰登山口—07:57天狗岩—08:22△笹ヶ峰—08:42小天狗岩—09:01笹ヶ峰登山口

口＝赤荒峠登山口10:08—11:17国見越—11:39△国見山—
12:58△猴踊—13:11国見山登山口

【参加者】

重廣恒夫 新本政子 岡田輝子 久保和恵 黒田記代
立野里織 橋本圭之輔 村田かおり 山内幸子（関西支
部8名） 尾野益大 今井順一 家段勝好 小林京子 滝
由喜子 清家一明 他3名（四国支部9名） 計17名

支部山行16-8 関西支部県境縦走41
護摩壇山～龍神岳～鉾尖岳～蟻ノ越

重廣恒夫

5月28日(土)晴のち雨

今回も紀伊半島屈指の高野龍神スカイラインの途中が縦走開始点となるので、高野山駅からタクシーで「山の家しみず」に向かう。タクシーを降りてスカイライン沿いの細い稜線を歩く。△中峰手前の分岐は、近畿分水嶺踏査の折に通過した地点であり懐かしい。さらに和歌山・奈良県境を辿り、護摩壇山スカイタワーへ。ここで暑さに参った橋本さんが離脱。護摩壇山から東進し龍神岳へ。和歌山県最高峰の立派な石碑が建っている。県境は耳取山から方向を南へ変える。途中の急な県境は階段の迂回路が設置されていて助かった。P1195を越えて林道と合流した広場にテントを張り、P1213に食い込む沢の手前の荒廃した林道で取水した。護摩壇山から降り出した雨も夕方には止んだ。

5月29日(日)晴

テントサイトからP1112に登った後林道を横断し、稜線を南下する。△野々原辻を過ぎて林道に降り立ち、しばらく林道歩きとなる。P1076を過ぎた林道から△出谷郷に登る。ここからアップダウンを繰り返しながら東進し鉾尖岳へ向かう。小鉾尖岳の手前の三叉路には捨てられたバスが朽ちていた。細い岩稜を巻いて辿りついた二等△鉾尖岳は南西に展望が開け、これからの縦走が楽しみである。頂上からの細い急な稜線の下降は、アンザイレンして後続者がルートはずれないようにした。降り立った草地からさらに2度ほど道路を横断して南下する。△東川を過ぎて、細い稜線を下ると蟻ノ越である。しかし落石除けのネットが張られて下れない。やむなくネット上から懸垂下降でタクシーの待つ峠に降り立った。

【コースタイム】

28日 山の家しみず09:55—11:58中峰—12:42スカイタワー—13:24護摩壇山—13:49龍神岳—14:06耳取山—16:27アリゴノタワー—17:13取水点—17:38テントサイト



鉾尖岳にて 写真提供：重廣恒夫

29日 テントサイト04:26—05:57野々原辻—07:39出谷郷—09:56鉾尖岳—12:35P1243—14:49東川—16:18蟻ノ越

【参加者】

重廣恒夫 黒田記代 松仲史朗 村田かおり（会友）若
林朋世（28日のみ）橋本圭之輔 28日6名 29日5名

16-09 4000山グランプリ
三ノ沢岳～木曾駒ヶ岳～将棊頭山

栗尾雅恵

6月4日(土)晴のち曇

ホテル千畳敷に前泊。土日は下り坂の予報だったが昨夜の満天の星のおかげで晴。他メンバーとカール前で合流。装備を分担、準備体操後三ノ沢岳へ向かう。ところどころ雪の残る道を喘ぎながら登る。分岐にザックをデポ。明るいイワヒバリの声と、風雪に耐えた木に咲く小さな桜の花に思わず笑みがこぼれる。三ノ沢岳(2846.7m)の三角点は地中に埋める事ができなかったのか道標のように立っていた。縦走路に戻り、宝剣岳へ取り付く。岩場は楽しいが大きなザックの為バランスが難しい。リーダーの指示通り、一步一步慎重に進む。宝剣岳(2931m)、中岳(2925m)を踏みテント場着。ソロテントが5～6張り、若い男性達がくつろいでいる。急いでテントを設営し、皆で楽しい食事を摂った。

6月5日(日)雨のち曇

3時起床。昨夜から雨、リーダーによると夜半は雪だったそうだ。駒ヶ岳(2956.1m)から将棊頭山への稜線に行く。周囲の山々と残雪の白い筋が美しい。八合目分岐にザックをデポ。噴煙を上げる御嶽山、乗鞍、穂高に槍。素晴らしい眺めに心が弾む。P2730手前で巨石がいくつも見えてきた。近づくと大きく「遭難記念碑」と刻まれた岩が、大正2年の学校登山の遭難を伝えている。昨夏



三ノ沢岳から宝剣岳に 写真提供：重廣恒夫

駒ヶ岳に登ろうと、この遭難についての小説を、地図をたどりながら読んだが、自分がここまで来るとは思いもよらなかった。心をこめて手を合わ

せる。将棊頭山(2730m)での眺望も素晴らしい。ザック回収後、濃ヶ池方面へ向かう。雪のトラバースが続く。途中雪が硬くなりアイゼンを装着しアンザイレン。駒飼ノ池で雨具を脱ぐ。宝剣山荘を仰ぎ見るがなかなか近づかない。千畳敷に下り、軽装の観光客にまじりロープウェイにて下山。2日間の雲上の旅が終わった。

【コースタイム】

4日 千畳敷08:31—09:20極楽平—10:28 P 2676—11:36三ノ沢岳—14:02三ノ沢岳分岐—15:14宝剣岳—15:52宝剣山荘—16:38頂上山荘テント場

5日 テント場04:35—05:14木曾駒ヶ岳—05:30テント場分岐—06:15 P 2779—07:05 P 2661—07:32聖職の碑—07:40 P 2730—08:03将棊頭山—09:51濃ヶ池—12:24駒飼ノ池—13:23乗越浄土—14:14千畳敷

【参加者】

重廣恒夫 黒田記代 松仲史郎 立野里織 (会友)若林朋世 (会員外)栗尾雅恵 計6名



支部山行16-10 しっかり歩こう 中山から大峰山、鳥脇山、岩根山

若林朋世

6月12日(日)曇のち雨

風がなく蒸し暑い1日だった。道は整備されて歩き易く、見晴らしは良くないが、看板がいたるところがあるので地図があれば迷うことはない。行程は長いが起伏は少ない。

山本駅から町中をしばらく歩き、登山道に出る。最明寺滝を見て中山縦走路に岩場から取り付く。登りやすい岩場であった。鉄塔まで上がれば一息つける。しばらく歩くと四等△満願寺西山がある。標識もあったが分かりづらい。ここからは穏やかな登りになりとても歩きやすい道で、最高峰の二等△中山まで来ると大勢の人が昼食をとって賑やかだった。大峰山登山口から尾根に上がったところで昼食をとる。三等△大峰のある頂上から雨が降り始める。ここで武田尾に下るメンバー4人と別れる。十万辻まで下り、しばらく車道を歩き鳥脇山に取り付く。最初、勾配の急な階段があるがそれさえ乗り切れば後は楽な道になる。三等△鳥脇山で休憩し、四等△岩根山へ。作業小屋だった廃屋があった。岩根山からは北の尾根を下り、途中で東に向かう道を取り住宅地を抜けて清和台のバス停に向う。川西能勢口駅にて解散。



岩場を越えて一休み 写真提供：前田正彰

【コースタイム】

山本駅08:45—09:05最明寺滝—10:20満願寺西山—11:40中山最高峰—13:55大峰山14:10—15:18鳥脇山登山口—15:53鳥脇山—16:35岩根山—17:18清和台4丁目バス停

【参加者】

山内幸子 久保和恵 戸島泰三郎 橋本圭之輔 前田正彰 宗實二郎 (会友)岐部明弘 横山規江 若林朋世

計9名

支部山行16-11 熊野古道伊勢路シリーズ1

6月16日(木)実施予定の「伊勢神宮から田丸」は、雨天により繰延(支部山行16-16とし、以降順延)

支部山行16-12 県境縦走42

蟻ノ越～牛廻山～安堵山～小森集落

新本政子

6月18日(土)晴

紀伊田辺駅周辺に前泊し、ジャンボタクシーにて牛廻峠へと向う。よくまあこんなところを降りてきたものだと前回の下山路を見上げる。身支度を整えて、今回の県境も蟻ノ越よりいきなりの急登から始まった。30分後林道に出て牛廻登山口にて小休止の後、P1177地点で西に向かい、自分の影を踏みながら二等△牛廻山、万人岡を経て大峠山で昼食。これより旧龍神村と十津川村の境界を林道との合流点まで長く張られた網に沿って下ることしばしであった。まだ先は長いと一頑張り二頑張りして三等△丹生ノ川で記念写真を撮り、P829で小休止の後、河俣へ下った。最後の急な下りはロープのお世話となり、廃村となっている河俣のキャンプサイトで長い一日の行程が終わった。

6月19日(日)曇のち大雨

3時起床。丹生川の渡渉から今日の行程は始まった。払暁4時半冷たい!痛い!と、ひと騒ぎするやロープを付けての急登となり、すっかりと目覚める。登山道合流点でハーネスを外して和田の森へと向う。ここからは標識も整備されている。P964を過ぎた辺りに材木を下す為のリフトの跡と思われる土台が残っていた。周囲はすっかり立派な檜の山となっていることから昭和30年頃のものではないかとの声もした。紀ノ国の真ただ中に居ることを楽しみながら県境を進み、荷物をデポし空身で果無へと続く道を安堵山へと寄り道し、県境に戻って林道に下った。今回の県境離脱点である。最後は懸垂で降りることとなった。しかし大変なのはこれからだった。辛うじて持ち堪えた天気もこれまでと、凄まじい雨に叩かれながら延々と車道を歩き、迎えのタクシーの待つ小森集落にたどり着いた。この雨は、紀勢本線の特急一台を運休させる豪雨であった。

【コースタイム】

18日 蟻ノ越07:58—10:21牛廻山—11:15大峠山—15:37丹



朝一番の徒渉 写真提供：重廣恒夫

生ノ川—18:13キャンプサイト

19日 県境復帰点04:24—08:08和田ノ森—08:29下降点—10:11安堵山—11:22龍神本宮林道合流—13:55小森集落—15:11紀伊田辺駅

【参加者】

重廣恒夫 黒田記代 立野里織 松中史郎 村田かおり
山内幸子 新本政子 (会友)若林朋世 計8名

支部山行16-13 ゆるやか山行「里山探訪」

歴史と文化を訪ねる34

北摂 大野山(753.5m)

久保和恵

7月1日(金)曇のち晴

ゆるやか山行は雨天中止が基本でしたが、初めて翌日に順延しました。敢えてそうしたのは山頂のあじさい園が見ごろを迎えていることが一番の理由でした。

西軽井沢バス停から少し戻ると標識があって登山口。入ると、関西の軽井沢と銘打って開発した別荘地のようだが、住む人もなく荒れるに任せている。登山道には適当なところに案内板もあり迷うことはない。一カ所崩壊地があったが、ポピュラーなコースなのだろう踏み跡がしっかり固められて危険はなかった。その先、急傾斜になった階段状の道を登りきると電波塔の前に出た。そこからはなだらかな草原に行く。三等三角点のある山頂へ到着。360度のパノラマ、目前は一面ブルーの色を放った紫陽花が満開で、空の青と競い合っているよう。昼食後、猪名川天文台のあるピークへ。ここも360度の展望だ。柏原の棚田がきれいに見える。憩いの天上楽園と言ってもいい。

さあ、ここから待望の岩めぐり。車道と並行するように尾根から山腹を回り込むように遊歩道がつけられてい



ハイライトは太鼓岩 写真提供：前田正彰

る。そそり立つ花立岩を皮切りに、次々と現われる巨岩は見事です。ユニークなネーミングがなされ、なるほどそのように見るとそれらしく見えてくる。所々「界」と彫ってある岩があるが、昔、摂津と丹波の国境を明示したものだという。ハイライトは何といても太鼓岩、圧巻

だ。岩上の足場が前方に落ち込んでいるので上がるとちょっとスリリング。カメラに向ける笑顔もやや引きつっているような…。ふくろう岩を最後に僅かで車道に合流し、柏原バス停へ下山した。面白いハイクでした。

順延したことで、都合悪く参加頂けなかった皆様には申し訳ございませんでした。

【コースタイム】

能勢電鉄日生中央駅09:01=09:33西軽井沢バス停—11:00山頂分岐—11:18大野山山頂12:03—12:12大岩巡り口—13:15太鼓岩—13:36車道出合—14:26柏原バス停=15:45能勢電鉄日生中央駅

【参加者】

久保和恵 山内幸子 魚津清和 浦上芳啓 岡田輝子
黒田守彦 戸島泰三郎 橋本圭之輔 廣瀬健三 前田正彰
松上美代子 (会友)秋月修次 岐部明弘 黒岩敦子
小林三喜男 田中アキエ 横山規江 計17名

支部山行16-14 しっかり歩こう 檜ヶ峰～とかが尾～林山

山内幸子

7月3日(日)曇のち晴

六甲の静かなコースである。檜ヶ峰登山口から鉄塔道の急な階段を登り、尾根道に出ると檜ヶ峰は直ぐである。展望のいい尾根道を歩いてキレットを越え小笠峠に下り、旧自動車道から大藪谷に入るがこのところ雨が多いので渡渉に苦労する。堰堤の先から尾根に上がる道を取り、小天狗山に向う。小天狗山を越えるとヤセ尾根でと

かが尾山に向う。笹が茂って道がわかりにくくなるが、とかが尾のピークの先、熊笹峠から西方向へ進み、林山に向う。林山は笹の中の道を進み、切り開かれた展望のないピーク。東お多福山、ロックガーデン中央稜、高座の滝を経て芦屋川駅に出る。

【コースタイム】

檜ヶ峰登山口08:50—09:35檜ヶ峰—10:26小笠峠—10:56大藪谷堰堤—12:06小天狗山—12:57熊笹峠—13:22林山—14:30東お多福山分岐—15:00東お多福山—17:00高座の滝—17:35阪急芦屋川駅

【参加者】

戸島泰三郎 橋本圭之輔 宗實二郎 黒岩敦子 山内幸子 計5名

支部山行16-15 4000山グランプリ 若栃山(1593.2m)

重廣恒夫

若栃山は通常、唐谷林道の途中から取りつく反射板経由の稜線コースと、林道終点に近い沢筋から上る2つのコースがある。今回はカラ谷を廻行して山頂に至り、北西に延びる稜線を周遊した。下山後に知ったことであるが、御嶽山の西麓に位置する飛騨小坂は、その豊かな水と急峻な地形により日本一滝の多い町で、落差5m以上の滝216を有しているそうである。

7月9日(土)雨

早朝大阪を出発し、下呂温泉からタクシーで巖立峡に到着する。雨具を着け駐車場入口のゲートから歩き始める。榎谷林道から唐谷林道に入り、伐採跡を見ながら高度を上げる。林道が大きく蛇行する1000m地点から入渓。冷たい水の中を魚が走る。小滝は多いが平凡な溪相であ



雨の中の沢歩き 写真提供：重廣恒夫

る。しばらく進むと谷はだんだんと傾斜を増し、右手に雨に濡れた岩壁が現れた。そこを過ぎると2段それぞれ30m前後の滝が往く手を阻む。水量の多い滝に恐れをなし、左手の急崖を大きく高巻き連瀑帯をやり過ごし、浅いルンゼを下って復帰した。雨はますますひどくなり視界も悪い。少し進むと草地があったので、時間は早いですが先に平坦地もなさそうなのでタープを張った。

7月10日(日)晴

夜半まで降り続いた雨も止み、すがすがしい朝を迎えた。いくつかの滝をやり過ごし二俣を通過。単調な沢歩きとなりほどなく三俣に到着した。右手の沢に入り山頂南東のコルに出るつもりであったが、目先のピンクテープに導かれて手前の涸谷に入ってしまったので強引に左にトラバースして1450mのコルに到達した。針葉樹の林から笹藪を抜け、石楠花の細い稜線を辿り山頂に着いた。三角点といくつかの山名板が頂上と教えてくれるが、稜線の一角の山頂は休む場所もないのでそのままP1453まで進み、昼食の後厳立峡駐車場へと下った。

【コースタイム】

9日 林道榎谷線林道ゲート10:16—10:53唐谷林道入口—12:10入渓点12:31—14:40二段滝高巻終了点—15:41ビバーク地(1220m)

10日 ビバーク地05:30—06:15二俣(1230m)—07:25三俣(1310m)—10:40若栃山—11:39P 1489—12:18 P 1453—13:44反射板コース登山口—15:28厳立峡駐車場

【参加者】

黒田記代 松仲史朗 立野里織 若林朋世 重廣恒夫
計5名

支部山行16-17 県境縦走43
P897～千丈山～冷水山
松仲史朗

7月23日(土)曇

紀伊田辺駅からタクシーで県道田辺龍神線から県道龍神十津川線を走り、加財から龍神本宮林道に入った。坂泰トンネルを抜けて安堵山手前下の通信施設に到着した。昼食後、県境復帰点から南下し千丈山を目指す。県境は切り開きとなっており歩きやすい。最低鞍部から、和歌山県側には鹿除けネットが施設されている。西側は見晴らしが良く、真夏の日差しが強い。道端の柿葉草は既に花が終わっていた。三等△千丈山では少し寒く感じた。P964通過後は積もった落葉で山道が見え難く、滑りやすい。最後は急崖を下り、広見川の河原にでた。渡

渉後、林道脇の平坦地にテントを張った。まだ時間も早いので、ゆったりとした夕食タイムとなった。見上げる夜空に星は見えないが、雲に包まれた月がぼんやりとしている。明日も曇りなのかと予想して、快適なテントサイトで眠りについた。

7月24日(日)曇

3時起床。4時半前にテントサイトを出発し冷水山を目指す。暗い中、急な稜線を登ると植林帯となり傾斜も緩くなった。林道終点手前で陽がさし始めた。三等△柳平までは急登だ。細い稜線を辿りP857を過ぎると、奈良県側の樹林帯に喰いこむ沢には小さいが水勢のある滝が見える。暑い夏の日差しが降り注ぐ檜の植林帯の間をくぐり抜けると、立派な記念石碑が立つ龍神本宮林道に出た。小休止の後、コンクリートの法面に刻まれた階段を登って県境稜線を喘ぎながら一歩一歩登り、しっとりとした果無山脈の縦走路に合流した。濃い緑と薄い霧で幻想的な雰囲気醸している縦走路を西進し、一等△冷水山山頂に到着した。写真撮影の後さらに西へ180m程歩き、テープに導かれて龍神本宮林道冷水山駐車場に降り立って今回の縦走が終わった。



広見川そばのテント場にて 写真提供：重廣恒夫

【コースタイム】

23日 県境復帰点11:59—12:59P 897—13:29東西道分岐—14:22千丈山—15:02P 964東—16:11渡渉点—16:24キャンプサイト

24日 県境復帰04:23—05:25林道終点—06:12P 916—06:54柳平—08:10P 857—8:53林道合流—10:48P 1234—11:09冷水山—11:24下降始点—11:53林道—12:09冷水山駐車場

【参加者】

重廣恒夫 新本政子 黒田記代 山内幸子 松仲史朗
計5名

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(4月～6月)

秦 康夫

2016年5月5日(木)9:30～15:30

前年度に予定した作業は一通り終了しているが、まだ急斜面に若干間伐放置材を残したままになっているので、その処理をする。

3班に分かれ、45林班「ろ4」地区へ下って作業を始めた。作業場所は急傾斜なので足場が極めて悪く、作業には慎重を要する。太い間伐放置材にはやむを得ずチェーンソーを使用した。できるだけ手ノコで処理するようにした。気象条件は良く、午前・午後精力的に活動できたので、林床に散乱していた放置材や落ち枝、落ち葉類もほぼ片付き、また、枝打ち班の活躍で林間も大分明るくなった。

【作業参加者】猪川誠 斧田一陽 倉谷邦雄 河野直子 後藤和子 杉本佳英 武田寿夫 中村賢三 秦康夫 福井誠 計10名

2016年5月15日(日)9:30～15:30

昨年6月、本山寺山一帯に広がりつつあったナラ枯れの拡散防止対策として、既にカシナガ(カシノナガキクイムシ)に潜入されている二十数本のナラ類(主としてコナラ、アカガシ)の幹に、濡れタオル及びビニールシートを巻きつけた。

カシナガは体長5mm位の昆虫だが、6月～8月頃に羽化した新成虫が風に乗って、数千匹という単位で大量に飛来する。大口径の広葉樹(ナラ、カシ類)に付着し、雄が穴を開けて内部に潜入、その後雌が入って産卵する。雌が持ち込む病原菌のナラ菌がナラ枯れの元である。樹内で繁殖したナラ菌が樹木の細胞を破壊し、死んだ細胞

が目詰まりを起こして通水障害をもたらすため葉は水分不足で茶色くなり木は5年程で枯死してしまう。

カシナガの卵はナラ菌を餌にして木の中で成長する。翌年の夏には羽化して成虫となり、穴から出て他の木へ移る。木の幹に濡れタオルを巻きつけてビニールシートで覆っておけば、羽化した成虫が木の外へ拡散するのを防止できる。また外からカシナガが飛来したとしても、木への付着は防げるはずである。決め手となるナラ枯れの完全防止策はまだないようなので、調査研究も兼ねて新しいこの方法で様子を見ることにしている。先日、昨年巻きつけたビニールシートを剥がして見るとカシナガの成虫の残骸が数匹みつかったので、少しは拡散防止に役立ったのだと思う。

今年もカシナガの飛来するシーズンが近づいて来た。昨年は、既にカシナガに潜入されているナラ類を対象に、産卵後の成虫拡散防止策が主体だったが、今年は幸いまだカシナガの飛来が見られないので今からシートを巻いておけば飛来・潜入をかなり防止できそうだ。何百本もあるナラ類全部は無理としても、取り敢えず東海自然歩道沿いの比較的太い(直径20cm以上)コナラ、アカガシを対象に防止処置を施すことにした。昨年は、掻き集めた古タオル類がすぐ無くなってしまったので、今年はコネを辿って多量のBC反バスタオルを購入してある。本山寺境内で水に浸して現場へ持参し、地上2m程度まで、幹に濡れタオルを被せその上にビニールシートを巻き付ける、という作業で、午前、午後併せて東海自然歩道沿いのコナラ、アカガシ20数本を処置した。

ナラ枯れ防止対策班とは別に、登山道整備班は東海自然歩道沿いの枯損木・垂れ下がり木伐採、枝打ちとともに、落ち葉や土砂で埋まった水切り溝の整備を行った。

【作業参加者】猪川誠 斧田一陽 小櫃徹夫 金井良碩 阪下幸一 武田寿夫 秦康夫 福井誠 丸山喜代司 (体験参加)小川晋太郎 越智勇介 計11名

2016年5月19日(木)9:30～16:00

4月の作業日が2回とも雨で5月に順延したため、今月の作業日は4回となった。そのせいもあり今回の作業参加者は少ない。前回に引き続き東海自然歩道周辺の枯損木除伐とナラ枯れ対策を行った。午前、午後あわせて7～8本の枯損木を片付けたが、うち一本、径は25cm程度でさほど太くはないのだが、堅くて重いアカガシの処

水曜会のご案内

【会 場】支部ルーム 18:30～

【開催日】10月12日(水)、11月9日(水)、12月14日(水)

【申 込】開催日は変更になる事があります。参加予定者は開催前月末までに担当者宛て実施日の確認と参加連絡をお願いします。

担当：水谷透 jacmztn@yahoo.co.jp

【報 告】

5月11日(水)カラコルムからチベットへ 出席14名

6月8日(水)春の上高地と木曾駒ヶ岳 出席10名

7月13日(水)東ネパール登山隊の紹介 出席8名

理には苦勞した。受け口と追い口を切り、ロープで倒す方向を定めて伐り倒したが、やや方向がずれて厄介な掛かり木になってしまった。チェーンブロックを使って木の位置を移動させ、やっと地上に下ろしたが、土留め集積場所への移動にもチェーンブロックを必要とするほどで、後処理にも苦勞した。この一本だけで優に1時間以上掛かってしまった。

枯損木除伐の傍ら、ナラ枯れ対策としてカシナガ潜入防止のための濡れバスタオル・ビニールシート巻き及び枝打ちや林床整備を行った。

【作業参加者】猪川誠 斧田一陽 武田寿夫 秦康夫
計4名

2016年5月29日(日)9:30~16:00

前回同様の臨時作業日、勢い参加者は少なくならざるを得ない。この日は3名だった。天候はまずまずで物置小屋周辺のナラ枯れ対策から作業を始めた。

木の幹に昨年巻きつけたシートを剥がし、虫の痕跡を観察した上で新しい濡れタオルを巻き、その上からビニールシートを覆い巻きして行く。枯死が近いのではと思っていた一本が若い枝葉を吹き出しているのに気づき、この「濡れタオル方式」に一定の効果が見られることに意を強くした。物置周辺と自然歩道沿いで約20本を処理。

午後は干害防備保安林の南、44林班「は」地区に移動して常緑樹の除伐を行った。保全対象の落葉広葉樹やモミ、ツガ、アカガシ等の天然林の育成を助けるため、枝葉が繁茂して林間を暗くしているアセビ、ヒサカキ、ツバキ等を除伐整理し、林床に陽光を呼び込むのが目的で

ある。幹が堅く切り難い、枝が多く倒れにくい、枝の処理に手間取る等々、難儀な作業だったが、それでも10数本は処理できた。小人数にしては捗った一日だった。(武田壽夫記)

【参加者】斧田一陽 武田壽夫 福井誠 計3名

2016年6月2日(木)9:30~15:30

3班に分かれて作業した。うち1班はナラ枯れ対策班、他の2班は繁茂する常緑樹の除伐と、随所に残っているマツやヒノキの枯れ木の伐採処理を行った。誤って残すべき広葉樹などを伐採してはいけないので、伐採対象とすべき木には、事前調査の段階で予め白色のビニールテープで目印を付けてある。

順調に作業が進み、予定地域内の要伐採木(白テープ)はほぼ処理できた。また、ヒサカキ、アセビ、ツバキなどを適宜除伐整理したお陰で林間が透いて明るくなり、作業後、登山道から眺めると西北方はるか遠方の山並みまで見渡せるようになった。

【作業参加者】斧田一陽 倉谷邦雄 薦田佳一 後藤和子 杉本佳英 武田壽夫 秦康夫 丸山喜代司 宮本廣
計9名

2016年7月3日(日)9:30~15:30

前回までで、東海自然歩道沿いの除伐作業は概ね終了したので、今回からは作業範囲を広げて谷方向に下ることにした。マツなどの枯損木と除伐対象の常緑樹に目印となる白テープを付けて要伐採木を選別し、手ノコによる伐採作業を始めた。厄介な掛かり木になるケースもな

第1回「山の日」記念全国大会 報告

重廣恒夫

初めて迎えた国民の祝日「山の日」は「国民の祝日に関する法律」(昭和23年法律第178号)に規定される16番目の国民の祝日として誕生した。制定にあたっては日本山岳会が主導した「山の日」制定協議会と、超党派の国会議員による「山の日」制定議員連盟のタッグによるところが大きい。

8月11日、松本市では第1回「山の日」記念全国大会の記念式典や祝祭式典が開催された。槍・穂高の玄関口上高地のバスターミナルの特設会場でおこなわれた記念式典には、山に縁のある各国の大使館や山岳団体の関係者ら招待者約500人が出席した。宮下元会長から小林現会長まで4代の会長も列席した。山の日誕生などへの思いをこめた8山鐘で幕を明けた。実行委

員会の菅谷松本市長、阿部長野県知事の挨拶の後、皇太子殿下の「山の日誕生を機に、ここ上高地から山の価値を国内外に発信し、多くの人が山に親しむことを願う」というおことばがあった。式典には雅子妃殿下・愛子さまも出席された。愛子さまの初めての公務と聞く。

英国出身の作家C・Wニコルさん、南佐久郡川上村出身の宇宙飛行士油井亀美也さんや指揮者の小沢征爾さんの「山への想い」のビデオメッセージの後、「山に親しむ機会を得て山の恩恵に感謝する」という「山の日」の理念を踏まえ、地元の安曇、奈川、大野川の小中学校の児童・生徒の「憩い、親しみ、楽しめる山、健やかで豊かな暮らしの源である山を未来へ繋いでいきます」と宣言して、記念式典は終了した。来年の第2回「山の日」記念式典全国大会は栃木県那須町で開催される予定である。

く、相当数の伐採と一帯の林床整備ができた。ただ、谷に近づくとつれ斜面の傾斜が急になってくる。足場が悪くなり、作業がやり難くなるが、とにかく安全第一に慎重に作業を進めたい。

【作業参加者】猪川誠 石原順子 斧田一陽 小櫃徹夫
薦田佳一 阪下幸一 武田壽夫 秦康夫 福井誠 宮本廣
計10名

自己紹介 (皆さんよろしく)

播戸 日出生(会友)

播州は姫路出身、当年74歳です。当会には森沢義信氏よりお声がけ「会友」に入会させていただきました。

日本山岳会の会員となればきつく険しい山に登るのではと敬遠気味でしたが、メンバーの高齢化に伴いゆるやかな山を歩く「ゆるやか山行」があるということで入会させていただきました次第です。また、スケッチ同好会も発足しましたので、行く先々でのんびり絵も描けると思い、仲間に入れてもらいました。絵は完全な初心者ですが楽しんでます。

ゆるやか山行、スケッチ同好会ともに元気を元気を出して先輩諸氏の後について行ければと願っています。どうかよろしく願いいたします。

(ばんど・ひでお 受2015.12.20)

宮野 章(会員番号15924)

2016年2月、高石清和様、重廣恒夫様からご紹介を頂き、入会させて頂きました。1955年、大阪生まれです。

私は、近畿大学薬学部にて在籍時、山岳部に所属していま

著者と語る会ご案内

日時 平成28年11月26日(土)
14:00~16:00(受付13:30~)

場所 大阪府立中央図書館 大会議室(2階)
〒577-0011 東大阪市荒本北1-2-1
Tel 06-6745-0170

交通 近鉄けいはんな線(地下鉄中央線乗り入れ)
荒本駅下車(1号出口)北西へ約400m

演題 『インド・ヒマラヤ』をめぐる

講師 沖 允人氏(会員番号5346)

申込み・問合せ (担当者または支部ルームへ)
担当 野口恒雄 tauche48kb@gmail.com
支部ルーム 奥付に住所・メールアドレス記載
※会場の都合上、メールまたはハガキにて
11月18日までにお申し込みください。

した。夏山合宿は、北アルプス剣岳で定着し、槍ヶ岳まで縦走いたしました。春夏秋は北アルプス、それ以外は比良山などの近畿の山が中心でした。一時リーダーをしていましたので、山行等の企画書を高石先生に持って行く機会に、何かやり甲斐のある職場はないですかと聞きましたところ、臨床検査の仕事を勧めてくださいました。その影響もあり、卒業後は臨床検査の仕事につきました。臨床検査では主に血液中の物質を測定していますが、現在も生理活性がわからない物質がたくさん見つかっており、その中には臨床的意義のある物質も見つかると思います。ですので、まだまだ新しい測定項目が増えると思います。今年の3月末に定年を迎え、4月からは非常勤として勤めています。職場にいる以外は自分の田と畑で趣味の農業をしています。

高校生の時は、美術部で油絵を描いていました。油絵の脂っこさが嫌になり、卒業後は日本画を習いました。結婚して子供が生まれると、忙しくなり絵を描くのを辞めてしまいました。また、私の描く日本画はなぜか数日後一部黒っぽくなり、それが嫌でした。そして、今、定年後で少し余裕ができましたので、テンペラ画を習っています。油絵はメディウムに油を使います、日本画は膠を使います。テンペラ画は主に卵の黄身を使います。顔料は基本的には同じなのです。テンペラ画は油絵が開発されるより前に使われていた方法です。テンペラ画は酢を防腐剤として使います。それでもテンペラ画の先生は、「この容器は綺麗ですか」とか「カビが生えたら困るのでドライヤーで乾かしましょう」とカビについて気にされます。それで気がついたのですが、私の描く日本画はなぜ黒っぽくなったのか、それはカビのせいではなかったのかと。

現在、山行に関しては、自分の膝に自信がないため、近畿大学薬学部山岳部OB会主催の山行に参加する程度です。スケッチ同好会に興味はありますが、仕事のため参加できそうにありませんので、関西でスケッチ同好会の展覧会があれば拝見したいと思っています。

皆様、よろしく願いいたします。

(みやの・あきら 受2016.06.29)

7月1日(金) 海外登山隊荷物整理
80周年募金事務
支部事務業務
〔6・8・17日も実施〕
6日(水) 海外登山隊発送書類作成

8日(金) 80周年事業会打合せ
13日(水) 水曜会
14日(木) 80周年募金事務
21日(木) 海外登山隊梱包作業
22日(金) 海外登山隊出荷作業

24日(日) 80周年募金事務
25日(月) 80周年募金事務
登山教室打合せ
31日(日) 支部報編集委員会
80周年募金事務

受贈一覧

(2016.5.1~7.31受理分)

山岳大阪 No.209(別冊共) 大阪府
山岳連盟
登山月報 第566, 568号 日本山岳協
会
兵庫山岳 第589号 兵庫県山岳連盟

山と人 第20号 神戸大学山岳会
日本山岳会支部報
・JAC岩手支部通信 第42, 43号
・茨城支部報 No.8
・群馬支部報 第4号
・埼玉支部報 第18号
・JAC神奈川支部報 創刊号

・富山支部会報 No.102
・東海支部報 No.146
・[京都・滋賀]支部だより No.123
・JAC Hiroshima 第60号
・東九州支部報 第73, 74号
・宮崎支部報 第57号

2016度10月~12月 支部山行計画

※申込先は、後のリストを参照してください【いずれも締切厳守】

16-24 ゆるやか山行【里山探訪】歴史と文化を訪ねる36

「六甲山系 城山から市章山・錨山・諏訪山公園」
日 時：10月20日(木)
集 合：新神戸駅バスロータリー 10時
コース：新神戸駅—城山—市章山—錨山—諏訪山公園
—三宮駅
地 図：2.5万分の1「神戸首部」
備 考：里山を歴史や文化を訪ねながらのんびり歩く
コースを変更する場合があります
歩行約6km 歩行約3時間30分
申込み：10月13日迄(締切厳守) 久保和恵

山一名柄—里塚跡—民宿泊

27日 民宿—羽後峠—甫母峠—二木島駅=大阪梅田

備 考：中型バス利用 定員28名(先着順で締切)
26日 歩行8.4km 歩行約4時間20分
27日 歩行11.5km 歩行約3時間35分
詳細は申込者に送ります。
※支部報164号掲載16-23に同じ(雨天中止順延による)

申込み：10月16日迄 久保和恵

16-25 しっかり歩こう

「丹生山系縦走 栄駅から丹生・帝釈・稚児ヶ墓・大池駅」
日 時：10月23日(日)
集 合：神戸電鉄粟生線栄駅改札口前 9時
コース：栄駅—衝原大橋—シビレ山—丹生山—帝釈山
—稚児ヶ墓山—鰻ノ手池—天下辻—大池駅
地 図：2.5万分の1「淡河」「有馬」
備 考：地図を見ながらしっかり歩く山行
歩行約23km
申込み：10月14日迄 山内幸子

16-27 ゆるやか山行【里山探訪】歴史と文化を訪ねる37

「信貴生駒山系十三峠(十三街道と業平ロマンの道)」
日 時：11月10日(木)
集 合：近鉄平群駅改札口前 10時10分
コース：平群駅—白山神社—杵築神社—十三峠(信貴
生駒縦走路)四ツ塚古墳—竜田川駅
地 図：2.5万分の1「信貴山」
備 考：里山を歴史や文化を訪ねながらのんびり歩く
コースを変更する場合があります
歩行約13km 歩行約4時間30分
申込み：11月3日迄(締切厳守) 久保和恵

16-26 熊野古道伊勢路シリーズ4

「八鬼登山口からJR二木島駅」
日 時：10月26日(水)・27日(木)
集 合：26日大阪梅田ダイワハウス前7時
コース：26日 大阪梅田=八鬼登山口—九鬼峠—八鬼

16-28 しっかり歩こう

「六甲 黒岩尾根から新穂高・シェール槍・杣谷峠」
日 時：11月12日(土)
集 合：新神戸駅バスロータリー 9時
コース：新神戸駅—黒岩尾根—摩耶山—徳川道—新穂

高一シェール槍—長峰山—阪急六甲駅

地 図：2.5万分の1「神戸首部」「西宮」

備 考：地図を見ながらしっかり歩く山行

歩行約20km

申込み：11月5日迄 山内幸子

16-29 比良山系を歩く

「白滝山1022m」

日 時：11月19日(土)

集 合：JR堅田駅改札口前 8時40分

コース：JR堅田駅＝坊村バス停—白滝山—音羽池—
長池—滝見不動明王奉安所—木戸峠—打見山
山頂駅(ゴンドラ)山麓駅＝JR志賀駅

地 図：2.5万分の1「比良山」「花背」

備 考：歩行約7km 歩行約4時間30分

申込み：11月12日迄 久保和恵

16-30 熊野古道伊勢路シリーズ5

「二木島駅から新宮・速玉大社」

日 時：11月23日(水)・24日(木)

集 合：23日 大阪梅田ダイワハウス前7時

コース：23日 大阪梅田＝二木島駅—逢神坂峠—国史
跡—大吹峠—松本峠—民宿泊
24日 民宿—花の窟—風伝峠—速玉大社＝大
阪梅田

備 考：中型バス利用 定員28名(先着順で締切)

23日 歩行15.1km 歩行約4時間

24日 歩行3.2km 歩行約2時間

詳細は申込者に送ります。

申込み：11月13日迄 久保和恵

16-31 わんぱく探検

「ほしだ園地」

日 時：11月27日(日) 雨天中止

集 合：R168号線沿い ほしだ園地駐車場 10時30分
京阪交野線私市駅前 9時30分(電車の方)

コース：駐車場—ピトンの小屋—星のブランコ—やま
びこ広場—星のブランコ—駐車場14時30分解
散

持ち物：昼食 シート ハンカチ ちり紙など

備 考：歩きやすい服装と履物 寒くないように

申込み：11月9日～20日 茂木完治

16-32 ゆるやか山行【里山探訪】歴史と文化を訪ねる38

「京都 大文字山466m(湖都から古都へ)」

日 時：12月8日(木)

集 合：京阪追分駅改札口前10時

コース：追分駅—藤尾神社—雨社大神—大文字山—七

福思案処—日向大神宮—蹴上駅

地 図：2.5万分の1「京都東南部」

備 考：里山を歴史や文化を訪ねながらのんびり歩く

コースを変更する場合があります

歩行約11km 歩行約4時間30分

申込み：12月1日迄(締切厳守) 久保和恵

16-33 4000山グランプリ

「千本山 甚吉森」

日 時：12月17日(土)・18日(日)

備 考：詳しくは担当者に問い合わせてください

難易度の高い山 テント山行

一般参加可 山岳保険加入が必須

申込み：12月3日迄 家段勝好 と 重廣恒夫

16-34 関西支部県境縦走45

日 時：12月23日(金)・24日(土)

コース：8月までの進捗状況によりコースが決まりま
す。HP等で確認してください。

備 考：詳しくは申込者に連絡します

申込み：12月10日迄 山内幸子

各山行は

担当委員もしくは支部宛にお申し込みください

e-mail: kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp

ステップアップ登山教室 一般対象 募集中

2ndステップ

初級『地図とコンパスを持って北摂の山を歩く』

10月4日(火) 百丈岩～秀ヶ辻山～高座山

11月1日(火) 行者山～菩提山～加茂山～金毘羅山

中級・上級 <休講>

3rdステップ

初級 12月6日(火) 冬の安全・快適トレッキング
術(座学)

中級 12月6日(火) 冬の安全・快適登山術(座学)

上級 12月6日(火) 冬の安全・快適登山術・積雪
期登山の基礎知識(座学)

2016年10月～12月 自然保護行事案内

1 日本山岳会関西支部本山寺山の森(本山寺山森林づくりの会活動)

活動日：10月6日(木)・17日(月)・11月3日(木祝)・20日(日)・12月1日(木)・18日(日)

2 東お多福山ススキ草原復元活動

- ・10月5日(水) 秋の植生調査と管理作業ほか
- ・11月23日(水祝) 晩秋の全面刈払い作業
- ・12月10日(土) 晩秋の全面刈払い作業

3 自然観察会

- ・11月20日(日) 本山寺山冷温帯林

4 第20回森の勉強会(11月5-6日(土日))

奈良・長谷寺 天然記念物与喜山暖温帯林
会費：18,000円 申込締切：10月15日

5 『古写真から紐解く六甲山地東お多福山草原の移り変わり』(B5判 164頁 送料別頒布価1,000円)の頒布

問い合わせ・申込み先

斧田一陽 TEL&FAX072-633-6556/090-4037-4542

※締切：森の勉強会を除き開催日の一週間前まで

※集合：本山寺山の森 JR高槻駅北口アルプラザ前
東お多福山 阪急芦屋川駅

いずれも午前8時50分

第27回 藤木祭 山の日関連行事

日時 2016年10月2日(日) 午後1時から

場所 芦屋・高座の滝前広場(雨天決行)

【記念ハイキング】

集合 同日 午前8時30分

場所 阪急岡本駅北側・梅守公園

スケッチ同好会 例会の報告とご案内

第14回 【案内】

日時 平成28年11月7日(月)10:00～15:00

小雨決行

集合 阪急池田駅改札口前 10時

行先 池田五月山公園

持ち物 水彩画を主とする画材一式、カメラ、弁当、

飲み物、折り畳み椅子、傘など

申込 平成28年10月31日(月)迄 松村文子

電話・FAX 072-752-0660

携帯 080-1415-0438

備考 詳細は後日、参加申込者に通知します

【報告】第12回

日時：平成28年5月7日(土)～10日(火)

行先：上高地周辺

【参加者】野村哲夫 浅田博三 岩崎しのぶ 浦上芳啓 大塚和子 岡田輝子 金井良碩 河野直子 小寺佳美 薦田佳一 播戸日出生 松上美代子 松村文子 横山規江 森沢義信 久保和恵 計16名



大正池より残雪の奥穂高岳と岳沢 画：岩崎しのぶ

街中から気軽に楽しむ山歩きガイド 清水 満著

大阪の山歩き100

A5判 184頁 オールカラー
写真・地図多数 1,800円



大阪の周りをぐるりと囲む山々は、高くないが、それぞれに歴史があり、個性に富んでいる。都市近郊ならではのバスや電車を利用して家族づれで登れるコースばかり、一〇〇山、一〇〇コースを選んだウォーキングガイド。

京都府339山案内

内田嘉弘・竹内康之 編著
A5判 272頁 口絵カラー
写真・地図多数 2,200円

京都府山岳総覧

A5判 272頁 口絵カラー
写真・地図多数 2,200円



日本海に面した丹後の山から、奈良県境の山までを実地踏査して、登路を含めた解説とともに、主な山には概念図と写真を加えた、京都の山を最も数多く紹介した案内書。新鮮なカラー口絵写真、全三角点(2、3等の標高100m以上)を掲載。

世界遺産の峰めぐり

小島誠孝ほか編著
A5判 208頁 オールカラー
写真・地図多数 2,000円

奈良名山案内

A5判 208頁 オールカラー
写真・地図多数 2,000円



大和三山など歴史ある奈良盆地周辺の山から、花や樹林の美しい室生・俱利伽藍など中部の山々。今、世界遺産で注目の奥高野・大峰山系・台高山系など、近畿主尾根の山脈まで172山・92コースを美しいカラー写真と地図で丁寧に案内。

日本山岳会 110周年記念出版



◎最新・最大の「山の百科事典」待望の改訂版
改訂新日本山岳誌 日本山岳会編著
菊判 2016頁 写真・地図多数 上製クロス装・函入り
18,000円

震災や噴火、豪雨などの災害による地形や登山道の変化、平成の大合併による地名変更、最新測量法による標高数値の改訂など、日本山岳会が英知を結集して脚で調査。日本全国四〇〇〇山の最新情報を網羅した山岳百科事典を10年ぶりに改訂。

ナカニシヤ出版

TEL 07517231011
FAX 075172310095

〒6068161 京都市左京区一乗寺木ノ本町15

表示は本体価格です。

台北市内に4連泊。滞在型の日程でゆったりハイキング。

台北滞在ハイキング 九份、草嶺古道、七星山 5日間

出発日～帰着日	旅行代金(大阪発着)
10/21(金)～10/25(火)	¥188,000
11/18(金)～11/22(火)	¥188,000

※福岡、広島、鹿児島発着も同一旅行代金

★台北のホテルに4連泊し、草嶺古道、七星山、基隆山と、それぞれ趣のある台北郊外の低山ハイキングを楽しめます。また九份観光や温泉、台湾グルメも楽しめます。



▲草嶺古道(ソウレイコドウ)を歩く

～連続する滝と湖の素晴らしい景観の大杉谷を歩く～ 秘境・大杉谷から大台ヶ原 2日間

【期間】11/12(土)～11/13(日) 【旅行代金】¥39,000
★日本三大渓谷のひとつ大杉谷は、大岩壁と数多くの名瀑、迫力ある峡谷が次々に現れ、流れる清流とともに美しい渓谷美を見えます。大台ヶ原の最高峰、日出ヶ岳は展望も良く日本百名山にも数えられています。

【大阪発着】エミレーツ航空利用。風と氷河が作り出した美しい岩峰に迫る

パタゴニア・パイン&フィッツロイ山群 トレッキングとイグアスの滝 14日間

出発日～帰着日	旅行代金(大阪発着)
12/6(火)～12/19(月)	¥918,000

福岡⇄大阪国内線(指定便)往復20,000円

★チリ側のパインとアルゼンチン側のフィッツロイの両山群で、そそり立つ岩峰を眼前に眺める展望地へ。歩き応えのあるトレッキングと大迫力の展望が楽しめます。旅の後半はイグアスの滝も訪れる盛り沢山の企画です。



▲フィッツロイが迫るロストレス湖へ

～太平洋に浮かぶ世界遺産の島の貴重な自然に触れる旅～ 秘境・小笠原諸島ハイキング 6日間

【期間】11/29(火)～12/4(日) 【旅行代金】¥214,000
★東京から南へ約1,000kmの距離に浮かぶ小笠原諸島は、独自の進化を遂げた固有種が豊富に生息しています。世界的にも貴重な自然を誇る、父島と母島を歩いて楽しめます。



観光庁長官登録旅行業第490号(第1種)/一般社団法人日本旅行業協会 正会員

アルパインツアーサービス株式会社

大阪 06-6444-3033
〒550-0003
大阪市西区京町堀1-4-3(TCF肥後橋ビル2階)

〈編集後記〉

☆店頭で秋の味覚の品々が並び始めています。猛暑、酷暑と言いつくせない暑さに苦しめられた夏は、間もなく爽やかな風に吹かれて遠く運ばれて行くでしょう。☆爽やかと言えば、関西支部東ネパール登山隊壮行会で隊員が勢揃いし熱い決意を述べられました。その面持ちは何とも新鮮で清々しい印象を受けました。秋も深まる頃、大願成就を果たし爽やかな笑顔で帰国をと、切に願っています。☆「本山寺山森林づくりの会」のレポートに心動かされ、明るくなった林床に小さな秋を見つけに行こうと思っています。 [K]

発行日 2016(平成28)年9月10日
発行所 〒530-0015 大阪市北区中崎西1-4-22
梅田東ビル3階 304号室
公益社団法人 日本山岳会関西支部
e-mail: kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp
郵便振替口座 00930-6-55950
発行者 金井良碩
編集 加藤芳樹 久保和恵 野口恒雄
制作 株式会社 双陽社
大阪市北区堂島2-2-28